

技術提案書評価要領（案）（総合評価型の場合）

（１）技術者評価基準

配置予定技術者の評価にあたっては、表 - 1（１）を標準とし、業務内容に応じて適宜必要な評価事項を表 - 1（２）から追加するものとする。

表 - 1（１）技術者評価基準（標準評価項目）

評価の着目点			評価		
			A	B	C
資格要件(注1) (管理技術者)	技術者資格 (注2)	技術者資格、その 専門分野の内容	技術士資格(部門) を有する	RCCMを有す る	左に該当しない
専門技術力	業務執行技 術力	過去 年間(注3)の 同種又は類似業務 の実績の内容(注4)	同種業務の実績がある	類似業務の実績 がある	同種又は類似業務の実績 がない
専任制	専任制	手持ち業務金額及 び件数	-	右に該当しない	全ての手持ち業務(注7)の 契約金額合計が 円(注8) 以上又は手持ち業務の件 数が 件(注9)以上
ヒアリング	専門技術力 の確認	専門技術力の確認	実績として挙げた業務 の担当分野に、中心的 ・主体的に参画したこ とが確認できる	左に該当しない	-
	コミュニケ ーション力	質問に対する応答 性	質問に対する応答が明 快、かつ迅速	左に該当しない	-
	取組み姿勢	業務への取組み意 欲	業務への取組み意欲が 旺盛、かつ適切な質問、 意欲表明あり	左に該当しない	-

注1：管理技術者のみ標準評価項目とし、担当技術者・照査技術者については追加評価項目とする。

注2：業務の難易度、内容により評価する技術者資格のレベルは変更してよい。

注3：「過去 年間」は10年程度を基本とし、業務内容に応じて適宜設定するものとする。

注4：実績の内容だけでなく件数を評価してもよい。

注5・6：欠（業務成績の評価は実施例を勘案しながら今後導入を検討する。）

注7：「手持ち業務」は、契約金額が500万円以上の業務を対象とする。特定後未契約のものがある場合は、参考見積金額を契約金額と想定するものとする。

注8：「円」は4億円程度を基本とし、業務内容に応じて適宜設定するものとする。

注9：「件」は10件程度を基本とし、業務内容に応じて適宜設定するものとする。

表 - 1（２）技術者評価基準（追加評価項目）

評価の着目点			評価			追加条件
			A	B	C	
資格要件(注1) (担当技術者)	技術者資 格 (注2)	技術者資格、 その専門分野 の内容	技術士資格(部 門)を有す る	RCCMを有 する	-	担当技術者、照査技術 者の能力が業務成果の 品質に大きな影響を及 ぼす場合
資格要件(注1) (照査技術者)					左に該当しない	
専門技術力	業務執行 技術力	当該部門従事 期間	当該技術分野の 従事期間が 年 (注3)以上	当該技術分野 の従事期間が 年(注4)以上 年未満(注3)	当該技術分野 の従事期間が 年(注4)未満	技術者の経験が業務成 果の品質に大きな影響 を及ぼす場合
情報収集力	地域精通 度	過去 年間(注 6)(の三重県 ・県内の業務 実績の有無	三重県発注業務 の実績がある	三重県内(国 ・市町村)で の業務実績が ある	-	技術者の業務対象地域 特性に対する精通度が、 業務成果の品質に大き な影響を及ぼす。

注1：担当技術者・照査技術者は追加評価項目とし、管理技術者については標準評価項目とする。

注2：業務の難易度、内容により評価する技術者資格のレベルは変更してよい。

注3：「年間」は13年程度を基本とし、業務内容に応じて適宜設定するものとする。

注4：「年間」は8年程度を基本とし、業務内容に応じて適宜設定するものとする。

注5：欠（技術者表彰、業務表彰の評価は実施例を勘案しながら今後導入を検討する。）

注6：「過去 年間」は10年程度を基本とし、業務内容に応じて適宜設定するものとする。

(2) 提案内容評価基準

提案内容評価に当たっては表 - 2 (1) を標準とし、業務内容に応じて必要評価事項を表 - 2 (2) から追加することができる。

表 - 2 (1) 提案内容評価基準 (標準評価項目)

評価項目	評価の着目点	評 価		
		A	B	C
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務の理解度	目的、条件、内容が簡潔に表現されている	左右に該当しない	目的、条件、内容が簡潔さに欠ける
	業務実施手順 (フロー・工程表)	業務実施手順が妥当	左右に該当しない	業務実施手順に矛盾がある
		業務量の把握が適切	左右に該当しない	業務量の把握が不適切
	その他	要請時点で示し落としした重要事項の指摘がある	-	-
特定テーマに対する技術提案	的確性	複数の特定テーマ間の整合性が高い	左右に該当しない	複数の特定テーマ間の整合性が図られていない
		地形、環境、地域特性などの与条件に整合する	左右に該当しない	与条件との整合性が十分でない
		必要なキーワードが網羅されている	左右に該当しない	必要なキーワードが全く示されていない
	実現性	提案内容に説得力がある	左右に該当しない	提案内容が荒唐無稽である
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている	左右に該当しない	提案内容の裏付けが明らかでない
参考見積	-	提案内容に相応しい見積となっている	提示した業務規模と大きくかけ離れているか、または提案内容に対して見積りが不適切	

表 - 2 (21) 提案内容評価基準 (追加評価項目)

評価項目	評価の着目点	評 価			追加条件
		A	B	C	
特定テーマに対する技術提案	的確性	事業の重要度を考慮した提案となっている	左右に該当しない	事業の重要度に対して提案内容が不釣り合い	対象とする事業の社会的影響が大きい場合
		事業の難易度に相応しい提案となっている	左右に該当しない	事業の難易度に対して提案内容が不釣り合い	業務の難易度が極めて高い場合
	実現性	利用しようとする技術基準・資料が適切	左右に該当しない	利用しようとする技術基準・資料が不適切	利用資料の適切さが業務成果の品質に大きな影響を及ぼす場合
		提案内容によって想定される事業費が適切	左右に該当しない	提案内容によって想定される事業費が不適切	業務成果が事業コストに大きな影響を及ぼす場合
	独創性	工学的知見に基づく前例のない提案がある	左右に該当しない	マニュアルに準拠した内容に終始している	一般的な業務実施手法が明らかでない場合
		周辺・異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法の提案がある	左右に該当しない	汎用的な検討・解析手法のみで、提案に工夫がみられない	高度な検討、解析手法を必要とする場合
		複数の既存技術を統合化する提案がある	左右に該当しない	単純な技術の羅列が提案されている	既存技術のみでは問題解決が困難な場合
		新工法採用の提案がある	左右に該当しない	陳腐化した工法の採用提案がある	工法に関する問題解決が必要な場合

(3) 評価要領

表 - 3 (1)、及び表 - 3 (2) を参考に技術提案書を評価する。
 評価項目の配点の合計は、必ずしも 100 点としなくてもよい。

表 - 3 (1) プロポーザル評価表

評価項目	評価の着目点	配点			評価	評価の 換算計算	評価点		
		項目別 配分	複数時 配分	項目別 配分			項目別 配分	複数時 配分	項目別 配分
予定 技術者 担当 技術者	管理 技術者	技術者資格、その専門分野の内容							
		同種又は類似業務の実績の内容							
		当該分野従事期間							
		三重県・県内での業務実績の有無 手持ち業務金額及び件数							
	担当 技術者	技術者資格、その専門分野の内容							
		同種又は類似業務の実績の内容							
		当該分野従事期間							
		三重県・県内での業務実績の有無 手持ち業務金額及び件数							
	照査 技術者	技術者資格、その専門分野の内容							
		同種又は類似業務の実績の内容 当該分野従事期間							
	ヒヤリング	専門技術力の確認							
		質問に対する応答性							
業務への取り組み意欲									
実施方針 実施フロー 工程表 その他	業務の 理解度	目的、条件、内容の理解							
		実施 手順	実施手順の妥当性 業務量把握の妥当性						
	その他	重要事項の指摘							
		小計							

: 標準評価項目
 : 追加評価項目

(注)

- 各評価項目について A、B、C の 3 段階評価を行うことを原則とするが、必要な場合には 5 段階程度の評価としてもよい。
- 評価は原則として 5 点満点とし、以下の 5 段階評価にそれぞれ配点する。
 A = 5 点、A' = 4 点、B = 3 点、B' = 2 点、C = 0 点
- 評価の換算計算は、満点に対する評価の比率に配点を掛け合わせる方法とする。
 例えば、10 の項目の場合には、以下のようになる。
 評価 A であれば、 $10 \times 5/5 = 10$ 点
 評価 A' であれば、 $10 \times 4/5 = 8$ 点
 評価 B であれば、 $10 \times 3/5 = 6$ 点
 評価 B' であれば、 $10 \times 2/5 = 4$ 点
 評価 C であれば、 $10 \times 0/5 = 0$ 点
- C 評価があるものは特定しない。この場合、説明書等において非特定とする場合の基準を明記すること。
- 総合評価結果の最高点者を特定することを原則とする。
- 参考業務規模を示した場合の見積価格が参考業務規模と著しく乖離している者がいる場合には、当該見積提示者に対し、ヒヤリングにおいて業務提案の妥当性について確認することとする。

表 - 3 (2) プロポーザル評価表

評価項目	評価の着目点	配点			評価	評価の 換算計算	評価点		
		項目別	複数時 配分	項目別 配分			項目別 配分	複数時 配分	項目別 配分
特定テーマに対する技術提案	全体	的確性	特定テーマ間の整合性						
			与条件との整合						
		的確性	キーワードの網羅						
			事業重要度の考慮						
			事業難易度の考慮						
		実現性	説得力						
			提案内容の裏付け						
			利用予定資料の適切性						
		独創性	事業費の妥当性						
			前例のない提案						
			高度の検討・解析手法						
		特定テーマ1	的確性	既存分野の統合化提案					
	新工法採用の提案								
	与条件との整合								
	的確性		キーワードの網羅						
			事業重要度の考慮						
			事業難易度の考慮						
	実現性		説得力						
			提案内容の裏付け						
			利用予定資料の適切性						
	独創性		事業費の妥当性						
			前例のない提案						
			高度の検討・解析手法						
	特定テーマ2	的確性	既存分野の統合化提案						
			新工法採用の提案						
			与条件との整合						
		的確性	キーワードの網羅						
事業重要度の考慮									
事業難易度の考慮									
実現性		説得力							
		提案内容の裏付け							
		利用予定資料の適切性							
独創性		事業費の妥当性							
		前例のない提案							
		高度の検討・解析手法							
特定テーマ3	的確性	既存分野の統合化提案							
		新工法採用の提案							
		与条件との整合							
	的確性	キーワードの網羅							
		事業重要度の考慮							
		事業難易度の考慮							
	実現性	説得力							
		提案内容の裏付け							
		利用予定資料の適切性							
	独創性	事業費の妥当性							
		前例のない提案							
		高度の検討・解析手法							
小計									
合計									
参考見積	提案内容と見積内容の整合性								

: 標準評価項目
: 追加評価項目

・総合評価型プロポーザルの評価例

総合評価型プロポーザル評価表（評価実施例）

評価項目	評価の着目点	配点			評価	評価の 換算計算	評価点			
		項目別 配分	複数時 配分	項目別 配分			項目別 配分	複数時 配分	項目別 配分	
予定技術者 担当技術者 照査技術者	技術者資格、その専門分野の内容 同種又は類似業務の実績の内容 当該分野従事期間 三重県・県内での業務実績の有無 手持ち業務金額及び件数	60 (80)	30 (40)	10	A	$10 \times 5/5 = 10$	10	32	64	
				10	A'	$10 \times 4/5 = 8$	8			
				(5)	B	$5 \times 3/5 = 3$	3			
				(5)	A	$5 \times 5/5 = 5$	5			
				10	B	$10 \times 3/5 = 6$	6			
	技術者資格、その専門分野の内容 同種又は類似業務の実績の内容 当該分野従事期間 三重県・県内での業務実績の有無 手持ち業務金額及び件数	15 (25)	5	B	$5 \times 3/5 = 3$	3	20			
			5	A'	$5 \times 4/5 = 4$	4				
			(5)	A	$5 \times 5/5 = 5$	5				
			(5)	A	$5 \times 5/5 = 5$	5				
			5	B	$5 \times 3/5 = 3$	3				
	技術者資格、その専門分野の内容 同種又は類似業務の実績の内容 当該分野従事期間	15	5	B	$5 \times 3/5 = 3$	3	12			
			5	A'	$5 \times 4/5 = 4$	4				
5			A	$5 \times 5/5 = 5$	5					
ヒヤリング	専門技術力の確認 質問に対する応答性 業務への取り組み意欲	25	25	10	A	$10 \times 5/5 = 10$	10	21	21	
				5	B	$5 \times 3/5 = 3$	3			
				10	A'	$10 \times 4/5 = 8$	8			
実施方針 実施フロー 工程表 その他	業務の理解度 実施手順 その他	15 (25)	15 (25)	5	A	$5 \times 5/5 = 5$	5	14	14	
				5	A	$5 \times 5/5 = 10$	5			
				5	A'	$5 \times 4/5 = 10$	4			
				(10)	-	-	-			
特定テーマに対する技術提案	全体 特定テーマ1 特定テーマ2 特定テーマ3	100	10	10	A'	$10 \times 4/5 = 8$	8	76		
				10	A	$10 \times 5/5 = 10$	10			
				10	B	$10 \times 3/5 = 6$	6			
				5	A	$5 \times 5/5 = 5$	5			
				5	A	$5 \times 5/5 = 5$	5			
				5	B	$5 \times 3/5 = 3$	3			
				5	B	$5 \times 3/5 = 3$	3			
				5	A	$5 \times 5/5 = 5$	5			
				5	A	$5 \times 5/5 = 5$	5			
				20	5	B	$5 \times 3/5 = 3$		3	14
					5	B	$5 \times 3/5 = 3$		3	
					5	A	$5 \times 5/5 = 5$		5	
				20	5	B	$5 \times 3/5 = 3$		3	12
					5	B	$5 \times 3/5 = 3$		3	
					5	B	$5 \times 3/5 = 3$		3	
合計		200 (230)	175							
参考見積	提案内容で見積内容の整合性				B					

：標準評価項目
：追加評価項目